

第 6 3 0 回 放送番組審議会

議事録

2026年6月16日（火）



第 6 3 0 回 放送番組審議会

1. 日 時 2026年6月16日(火) 午後1時30分

2. 開催場所 テレビ岩手6階 大会議室

3. 委員総数 9名

出席委員 6名

委員長 岩舘 めぐみ

副委員長 菅原 和宏

委員 千葉 幸子

委員 渡邊 里沙

委員 立花 工

委員 飯田 雄太

欠席委員 3名

委員 中野 美知子

委員 大森 健史

委員 保 和衛

社側出席者

福士 千恵子 代表取締役社長

小形 恵一 取締役報道制作局長

志田 博幸 報道制作局次長

渡邊 雄介 報道制作局アナウンス部兼制作部副部長

事務局

桑島 広実 (執行役員編成局長)

4. 議 題

1. 5／15（金） 18：50～19：56

「5きげんゴールデン～トークバラエティ禁断の岩手ガチ自慢」

2. その他

5. 資 料 （資料として以下のものを配布）

- ・視聴者からのご意見

6. 意見

【委員側意見】

○数を答える同じようなクイズが多かった。ひとひねり加えた雑学のような内容が含まれていればもっと興味をもって番組を見ることができたであろうし、出演者のユニークな回答も期待できたと思う。

○局の垣根を越えた出演者が集まれるのはすごいと思った。クイズでは盛岡周辺の紹介が多く、「岩手愛」が番組のテーマであれば、県北や沿岸なども紹介し、もっと地域色があってもよかったのではないかな。

○出演者がみな同じような色の地味なジャケットで、バラエティ感が薄く会議のようにも見えた。クイズの答えが出た後もVTRが続き、回答者のリアクションが見られず残念だった。

○方言クイズで紹介された大沢地区のかるたは、地元愛を感じる大変素晴らしい取り組みだった。方言は文化として大切にしていくことが求められるのであろうということを、番組から感じる事が出来た。

○番組として、全国への放送でも通用する部分と、ローカルのすぎる部分の、両方の面があった。方言かるたの紹介は高齢者を元気づける良い企画だったが、そこに子供たちも絡めば「継承」につながり、ローカル放送の番組としてもう一段ステップアップできたのではないかと感じた。

○収録後のトークから番組が始まり、期待が高まるオープニングだった。「禁断の岩手ガチ自慢」というタイトルが、見終わってもピンとこなかった。放送時間は、家族みんなで楽しめる時間帯だったので、番組を見て盛り上がった家族も多かったのではないかと感じた。クイズを通じて楽しみながら岩手の事をまた一つ知れた機会となった。

【局側意見】

○タ方の「5きげんテレビ」を仕事などで見られない方にもテレビ岩手の番組を見ていただきたいという思いで、金曜19時からの番組を企画した。

○タイトルにある「禁断」という部分は、県内各局の元アナウンサーの方やタレントなどのメンバーがそろふことを指しているが、視聴者には伝わりにくかったかもしれない。

○番組を制作するうえで、クイズと数にこだわった。県内の方にはよく知られている盛岡三大麺なども、数でとらえるとまた違った視点で紹介ができ、番組を見ていただいた方に楽しんでもらえる

と考えた。

○テレビを見る人が減っている中で、「テレビって面白い」ということを表現したいという思いでこのキャスティングによる番組を企画した。

7. 審議機関の答申または意見の概要公表の方法及び年月日

①自社放送 6月25日（木）11:25～11:30「あなたと歩むテレビ岩手」

②テレビ岩手本社での据え置き